

2013 年 4 月 14 日 「十一條と天一國の民」 石川祐司教会長

以下に、訓読のみ言を掲載いたします。

＜訓読のみ言＞

『天聖經』

「礼節と儀式」 第 3 章 礼拝と教会生活礼節

5) 献金は法度に合うように捧げるべし

① 十分の一献金を捧げる法

公金に対して厳しくなければなりません。10 分の 1 献金は徹底しなければなりません。自分の総収入から 10 分の 1 の献金を必ず神様の前に捧げなければなりません。(11-219, 1961.8.26)

10 分の 1 献金は、所有している物質中の 10 分の 1 を神様に捧げるにより全体を捧げる、という意味をもっています。父に全体を捧げるものではありませんが、その中の 10 分の 1 に精誠を込めて捧げるにより、残りの 10 分の 9 も聖なる物として取り扱えるようになります。このように 10 分の 1 献金を捧げて生活する人は、絶対減ぶことはありません。日がたてばたつほど、倉庫がいっぱいになっていくのです。(31-240, 1970.6.4)

精誠を込めて 10 分の 1 献金をしてみなさい。絶対に飢え死にしません。その子孫は、物質に対して窮乏しないのが原則です。10 分の 1 献金を捧げるために精誠を込めなさい。それが信仰の本質です。適当にすればよいだろうと、それは通じません。祭物は、自分の生命の代わりに捧げるのです。それで、一番貴重な物を捧げるのです。(63-338, 1972.10.22)

レビ族が治める教会の祭壇の前に、11 支派は全部 10 分の 1 献金を捧げなければなりません。これからは 10 分の 1 献金を捧げなければ教会員ではありません。もともとは 10 分の 3 献金を捧げなければなりません。一つは自分の国のために、一つは世界のために、一つは教会のためにです。10 分の 3 献金を捧げなければなりません。(84-162, 1976.2.22)

私たちが生きていく上で生活の 10 分の 1 献金を出すのは絶対的です。それを自分の物だと侵犯してはいけないのです。なぜそうなのかといえば、3 3 が 9 ($3 \times 3 = 9$) の「9」は、サタンが今まで支配したのです。サタンが支配するこの地上を、9 数を天の前に返し連結させれば、神様が主管できるようになるのです。そうすることにより 10 数を探し出すことができるので、私が神様を信じて 9 数を引っ張っていけば、この 9 数圏内のすべての所有権をサタン世界から分離できるのです。それで 10 分の 1 献金という言葉が出てきたのです。

(150-219, 1961.4.15)

皆さんが献金する時、何かを買って食べて、残ったお金で献金してはいけません。そのようなお金は汚れた物です。また市場に行って何かを買って、残ったお金で献金をして、神様はそこに共にいらっしゃることはできません。(48-86, 1971.9.5)

自分が使うところからいづらか献金して、それで教会を支えるというのは極めて良いこと

のようですが、それは悪いことだと思うのです。神様の前に捧げることは自分の生活より、自分全体のことよりも先にしなければなりません、その何パーセント捧げるという観念によって、自分の生活が主で、神様が次の段階に立つのが習慣化されやすいのです。神様が2番目になり、最後になってしまうのです。そうだと思いますか。そうではありませんか。

(96-101, 1978.1.2)